

インマヌエル中目黒キリスト教会

2013年5月26日聖日礼拝

使徒の働き連講③

「主は再び来り給う」

使徒の働き 1章4～14節

竿代照夫 牧師



聖書朗読

新約聖書

使徒の働き 1章4 – 14節

聖書本文は新改訳聖書第三版
(©新日本聖書刊行会) を使用しています。

第二版の聖書はp208~/ 第三版の聖書はp227~

- 4 彼らといっしょにいるとき、イエスは彼らにこう命じられた。「エルサレムを離れないで、わたしから聞いた父の約束を待ちなさい。」
- 5 ヨハネは水でバプテスマを授けたが、もう間もなく、あなたがたは聖霊のバプテスマを受けるからです。」
- 6 そこで、彼らは、いっしょに集まったとき、イエスにこう尋ねた。「主よ。今こそ、イスラエルのために国を再興してくださるのですか。」

- 7 イエスは言われた。「いつとか、どんなときとかいうことは、あなたがたは知らなくてもよいのです。それは、父がご自分の権威をもってお定めになっています。
- 8 しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。」

- 9 こう言ってから、イエスは彼らが見ている間に上げられ、雲に包まれて、見えなくなられた。
- 10 イエスが上って行かれるとき、弟子たちは天を見つめていた。すると、見よ、白い衣を着た人がふたり、彼らのそばに立っていた。

11 そして、こう言った。「ガリラヤの人たち。なぜ天を見上げて立っているのですか。あなたがたを離れて天に上げられたこのイエスは、天に上って行かれるのをあなたがたが見たときと同じ有様で、またおいでになります。」

12 そこで、彼らはオリーブという山からエルサレムに帰った。この山はエルサレムの近くにあって、安息日の道のりほどの距離であった。

13 彼らは町に入ると、泊まっている屋上の間に上がった。この人々は、ペテロとヨハネとヤコブとアンデレ、ピリポとトマス、バルトロマイとマタイ、アルパヨの子ヤコブと熱心党員シモンとヤコブの子ユダであった。

14 この人たちは、婦人たちやイエスの母マリヤ、およびイエスの兄弟たちとともに、みな心を合わせ、祈りに専念していた。

説教

使徒の働き連講③

「主は再び来り給う」



主テキスト

「ガリラヤの人たち。なぜ天を見上げて立っているのですか。あなたがたを離れて天に上げられたこのイエスは、天に上って行かれるのをあなたがたが見たときと同じ有様で、またおいでになります。」

(使徒 1 : 1 1)

A. 主の証人となる（8節）〈復習〉

1. 「証人」の意味：①主の復活を証言する；
②復活が救いの根拠であることを証言する；
③内住の主が、内面の変化を齎すことを（生活を通して）証しする
2. 証人となる場所：①エルサレム（同族・家族間）；
②ユダヤとサマリヤの全土（生活と仕事の場）；
③地の果て（未伝の地域と人々）
3. 証し之力：①聖霊が与える力；
②臆病と競争心からのきよめ

B. 主イエスの昇天（9節）

1. （復活）体としての顕れの終了

2. 「雲」（神の栄光）に包まれる

- ・ 幕屋・神殿の雲

（出40：34－35、列王8：10－11）

- ・ 変貌山における雲（ルカ9：34－35）

- ・ 再臨の時に現れる雲

（マルコ13：26、14：62）

C. 再臨の約束（10-11節）

1. 「淡い期待」を持っていた弟子達
2. 主の再臨を待ち望め
3. 待ち望みつつ宣教を！

D. ペンテコステに向けての祈り会

(12 - 14 節)

1. 祈りの場所：エルサレム市内の二階
(ヨハネ・マルコの母マリヤの家)
2. メンバー：11 弟子、女性たち、イエスの兄弟たちなど120名
3. 祈りの真剣さ：一つの目的のために
4. 祈りの結果：聖霊の満たしと聖霊に導かれての説教

おわりに

主の再臨を待ち望みつつ宣教を！